



ならし社協だより

第23号

JANUARY 2015

平成27年1月1日発行



親子で楽しく
シーツブランコ♪
in 北福祉センター
「まんまる」

目次 (ページ)

- 02 新年のご挨拶
- 03 法人後見事業について
- 04 あなたのまちの地域福祉活動「明治地区社会福祉協議会」
- 05 社協における福祉教育の実践～あなたのまちの福祉体験学習～
- 06 市民の力を被災地へ～広島市における災害ボランティア活動～
台風大雨災害に対する義援金のご報告
- 07 婚活プロジェクト「都祁と恋してほしいんです」
「まいまい米」ご寄贈いただきました。
- 08 み～つけた！奈良の良いものうまいもの♪～秋篠パン工房～

社協会員募集中!
(※詳細は裏面参照)

新年のご挨拶

社会福祉法人 奈良市社会福祉協議会
会長 福井 重忠



新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、輝かしい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また平素は、本会の活動に深いご理解と温かいご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本年は介護保険制度をはじめ、制度改正等により、地域福祉をとりまく環境が大きな転換期を迎え、課題は山積しております。可能なかぎり住み慣れた地域・家庭で自分らしい暮らしを最後まで送れる社会の構築に向け、本会では、お互い助け合いの精神で足りないところを補い合っていき、「誰もが安全・安心して心豊かに暮らせる福祉のまち」の実現に取り組んで参る所存であります。

本年も変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



法人後見事業について

～法人が成年後見人となってサポートします～

奈良市社会福祉協議会では、高齢者や、知的障がい・精神障がいのある方などで、介護等のサービス利用やふだんのお金の扱いについて不安をお持ちの場合に、安心して生活ができるようお手伝いする「地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）」を実施しています。利用者数と相談件数は年々増加しており、今後もその数は高齢化の進展によりさらに増加すると考えられます。



判断能力の低下が進めば成年後見制度（※）でその人の権利を擁護する必要がありますが、この制度自体も身近なものになっていないのが現状です。

※成年後見制度とは？

認知症、知的障がい、精神障がいなどによって物事を判断する能力が充分でない方の日常生活を法律的に保護する仕組みです。後見・保佐・補助の3つの種類があります。

奈良市社会福祉協議会では平成24年度から市民後見推進事業を実施し、奈良市での認知症・知的障がい・精神障がいのある方の生活を支える権利擁護システムのあり方について検討を行いました。



検討していく中で、後見人候補者の不足等が理由で成年後見制度の利用が進まない現状を解決するため、また一人ひとりの生活を支えることで地域全体を支えていこうという点からも、社会福祉協議会が法人として後見活動に取り組むことになりました。これが平成26年度より新たに開始した法人後見事業です。

※対象となるのは、地域福祉権利擁護事業利用者、後見市長申立の方です。

法人後見事業の流れ



法人後見では法人職員が法人の代理として成年後見制度に基づく後見事務を行います。担当している職員が何らかの理由で事務を行えなくなっても、担当者を変更することにより後見事務を長期にわたり継続して行うことができるという利点があります。こうした取り組みでご本人の権利を守り、地域で安心して生活できるように支援していきます。

◆ 問い合わせ先 ◆

生活支援課 福祉サービス支援室
奈良市二条大路南一丁目1番1号 奈良市役所内 TEL. 0742 - 30 - 2525 FAX. 0742 - 30 - 2323

あなたのまちの地域福祉活動

明治地区社会福祉協議会

奈良市の南部に位置する明治地区は、旧市街と新しく開発された街が混在している地域です。地区社協は15もの団体で構成されており、地区内の出来事や様子について共通理解できる機会を多く設けることを心がけておられます。今回、地域の福祉活動に対する思いを立石会長にお聞きしました。

顔の見える関係づくり

「明治地区は歴史のあるまちです。住民同士の顔が見える関係がこの町を支えてきました。新しい住宅が増え、新しい仲間（住民）も明治地区に愛着を持ってもらえるような地域にするには、先人が伝えてきた“顔の見える関係作り”を私たちも伝承していかなければなりません。」と立石会長は話されます。地区社協メンバーに新しい住民も参加しやすいように、日ごろから各種団体の活動参加への声掛けをしています。そして、お互いに積極的に意見交換し、今までにない新しい風を地区社協の活動に取り入れられるよう心がけておられます。「自分たちのまちを良くしようとする声」を大切にしたいというのが、明治地区社協の皆さんの思いです。



▲ 明治地区社協 立石篤男会長

特集 福祉体験学習

～地域と学校から未来の福祉へ向かって～

奈良市社会福祉協議会では、子どもたちに福祉について考えてもらう大切な機会として、市内の小・中学校での福祉体験学習を支援するとともに、地域における福祉の人材育成とネットワーク作りの一環として、地域と学校の関わりも積極的に支援しています。

今回は、「地域での子育て」に積極的に取り組んでいる明治地区社会福祉協議会の活動と、本会が講師やコーディネーターとして関わっている福祉体験学習の取り組みについて紹介します。



▲ 地域住民がマンツーマンで4年生の車イス・アイマスク体験をサポートする様子

あなたのまちの福祉体験学習

● 明治小学校での福祉体験学習

明治小学校では4年生を対象に、明治地区社会福祉協議会の協力のもと、アイマスクや車いすを使った福祉体験学習を行っています。今年は、30名の地域の方々が参加。児童の押す車いすに乗り、マンツーマンで様々なアドバイスが行われました。

地域の方が参加することで、大人と子どものコミュニケーションが活発になり、学習時の効果が高まるだけでなく、地域の方が行う登下校時の見守りの際のちょっとした会話も弾むようになっています。

「高齢者や障がい者の疑似体験を通じて「相手の立場に立って考える」ことの大切さを学んでほしい。そして、地域での生活においてその学びが活かされることで地域を良くしていこう」という学校の想いと、「子どもを地域で見守り、育てていこう」という地域の想いがマッチングした「福祉体験学習」で、ふれあいの地域づくりが進められています。

● 京西中学校での福祉体験学習

京西中学校では、見守り活動等でつながりのある地域の様々な団体の協力を得て、福祉体験学習を行っています。

今年からは、福祉体験を卒業まで継続して積み重ねていきたいとの思いから全学年で実施。学年ごとに日程とメニューを変えて実施される福祉体験学習に、1クラス約6名の地元ボランティアが参加し、サポートして下さいました。

地域の方とふれあうことで、人としてのつながりが広がってコミュニケーション能力が育つと先生方は話されます。「相手の思いを受け止めること」と「自分の思いを伝えること」、双方向の力がつくことで、人と人のより深い信頼関係が築けるようになり、「福祉の心」が培われていきます。

「教室のドアを開けたら、地域の人がそこにいる」、というぐらいに地域住民との関わりが当たり前な学校になってほしいとおっしゃる先生方。こうした思いに包まれて学習をした生徒たちが巣立ち、将来の地域における福祉の担い手へと育つことが期待されています。



▲ 地区ボランティアが1年生の車イス体験をサポートする様子

キーワードは「地域で子育て」

「福祉体験学習」は、小学校で毎年行われ、地区社協メンバーを中心に住民が30名ほど参加しています。プログラムについては、ご近所の方々と一緒に学ぶことで、子どもたちに顔見知りの大人が一人でも多くできるように工夫しています。ある年「防災訓練に参加したいけど、高齢なため小学校まで行くことができない」という高齢者の声がありました。どうしたら参加できるかという事を話し合う中で「車イスで参加してもらってはどうか」という意見が福祉体験学習に参加した方から挙がりました。大人の姿を見て、子どもたちも地域活動の担い手に育っていく、福祉体験学習はこれからの地域の人材育成の一つのきっかけになっています。

「課題はありますが、“顔が見える”信頼関係が地域の課題解決の力になるはず。自分のことが地域のことと思える向こう三軒両隣意識をこれからも高めていくこと、これが明治が目指す地域です。」と立石会長は力強く話されました。



▲ 明治小学校での福祉体験学習の様子

「福祉体験学習」と言えば、車椅子やアイマスクなどを使って「体験をする」ことに重点が置かれがちですが、福祉教育を進めていく上では、これらの体験を通じて、子どもたちが一人ひとりの違いを認め合い、福祉について自分で考える力を身に付けてもらうことが重要です。

また、地域の方に学習の場へ参加してもらうことは、子どもたちにとって“地域活動”との接点にもなっており、将来の地域活動の担い手づくりにもつながっています。

地域、学校、事業所などたくさんの方が関わることで、より一層「福祉」が充実する社会になるよう、本会は今後も福祉体験学習を支援していきます。

お問い合わせは…地域支援課 地域支援第一係 (TEL: 0742-93-3294)

市民の力を被災地へ

～広島市における災害ボランティア活動～

広島市安佐南区及び安佐北区においては、平成26年8月の豪雨により大規模な土砂災害に見舞われ、多くの犠牲者や家屋損壊が発生しました。これらの惨状を目の当たりにし、奈良市でも多くの方が被災地への支援の思いを募らせていることを受け、本会職員がコーディネーターとして随行のもとボランティアバスを運行しました。

活動日は発災から1ヶ月が経過した9月19日(金)。被災された住民は疲労がたまっている時期でもあり、復旧作業を急ぎたいという気持ちがある一方、多くのボランティア(知らない方)への対応の不安や気苦労を感じる方もおられたようです。奈良から新幹線とマイクロバスを使って駆け付けた17名のボランティアは、こういった現地の状況を踏まえ、広島市安佐南区の被災者宅で、依頼者の思いに寄り添いながら床下や家回りの土砂出しを行いました。

活動終了時に、依頼者からは「家をきれいにしてもらえて、心のつかえが一つとれました。ようやく前へ向いて進んでいけます。」という喜びの声をいただきました。

今回の土砂災害現場は、幹線道路からほど近く、山裾の住宅地で起こっています。奈良市にも似たような地形のところはいっぱいあり、どこでも起こりうる災害なのだとすることを改めて実感しました。今回実施した、被災者支援の一つであるボランティアバスの運行には、被災者への寄り添いや、市民のボランティアな力をつなげるなど、お金だけでは解決できない意義が多くあります。今後も様々な取り組みを通じて、本会としての被災者支援活動を進めたいと思います。

●ボランティアからの感想

- 「テレビで見るのと実際の現場はやはり感じ方が違った」
- 「被災者にどう声かけしていいか迷いました」
- 「広島市への支援に行きたいとずっと思っていました。今回の機会はありがたかったです。」
- 「この光景を心に刻みました。今後も奈良からできることがあれば支援していきたい。」



「台風大雨災害に対する義援金」のご報告

平成26年7月以降に各地で発生した台風大雨による被災者を支援するため、10月末まで募金箱を社会福祉協議会の各所属に設置し義援金を募集しましたところ、多くの皆様から温かいご支援をいただき誠にありがとうございました。
集まった義援金は広島県(広島市)、京都府(福知山市)、兵庫県(丹波市)、徳島県(那賀町)、長野県(南木曾町)の被災者に被災府県の共同募金会を通じて届けられます。

REPORT レポート

都祁と恋してほしいんです

～ NPO法人都祁主催/婚活プロジェクト第一弾～

少子高齢化と人口流出により、地域の活力が低下する問題に取り組む活動の一つとして、平成26年10月5日(日)奈良市都祁福祉センターで、婚活イベント「都祁と恋して欲しいんです」が開催されました。『都祁在住・在勤の男性』と『田舎暮らしに興味のある女性』を募集したところ、当日は台風18号の接近であいにくの天気でしたが、女性38名・男性22名の方が参加されました。

わくわく・どきどきしながら玄関で待つ男性陣。女性陣の到着でテンションは最高潮となり、婚活の始まりです。最初は緊張していた皆さんですが、イベントが進むにつれて打ち解けあい、和やかな雰囲気でも盛り上がりていきました。フリータイム中は、都祁をより知っていただくため、名所やイベントの映像とともに解説があり、そのあと都祁観光に出かけました。最後は、気に入った方に思いを伝えるため、アタックカードに名前や連絡先などを記入して提出。のちほど係の方から相手の方にカードを渡していただいてイベントは終了しました。

参加された男性の方が「婚活イベントを都祁で開催していただき、本当にありがとうございました。都祁地域の良さを伝えてもらったこともあって、男性陣は後押しされた気持ちになり、普段以上の力を出し、アピールできたことを感謝します。」と感想を述べられました。

主催団体であるNPO法人都祁の大東理事長は、「初めてのイベントで、あいにくの天気であったこともあり、プログラム通りにはできませんでしたが、少しでも都祁地域の良さを感じて頂けたなら良かったと思います。参加して頂いた方々が結婚して都祁地域に住んでいただき、この地域を支える新しい力になって頂けることを願っています。次回からも都祁地域の魅力を伝えられるようなイベントを企画したいと思います。」と話されました。

この様な取り組みが実を結ぶことで、地域が活性化し、新たな地域福祉活動の担い手が増えることを期待します。



●タイムスケジュール

- 10:00 男性集合
- 10:40 バスで女性到着
- 11:00 都祁紹介&自己紹介



- 11:30 餅つき体験
昼食、フリータイム
- 14:10 都祁観光案内
- 15:40 アタックカード記入・提出
- 16:00 女性を乗せたバス出発
係員よりアタックカード配付



「まいまい米」をご寄贈いただきました。

9月27日(土)、女優のいとうまい子さんがオーナーである田原地区の「まいまい田んぼ」で収穫祭が行われました。収穫されたお米は、福祉の分野で活用してほしいとのご本人の意向から、本会の善意銀行に預託され、高齢者の見守りを目的とした配食サービス事業などに役立てられました。ありがとうございました。



社会福祉法人 **福寿会** ホームページリニューアルしました
http://fukujukai.or.jp

特別養護老人ホーム **ならし** 特別養護老人ホーム **平城園**

● サービス付き高齢者向け住宅 **ヴィラ秋篠** ● ケアハウス **ニューライフならやま** ● 在宅サービス事業

※職員募集中 下記までご連絡下さい ※施設見学 下記までご連絡ください ※デイサービスの体験利用、行ってます

■ 法人本部・ならやま園 連絡先 ■ 平城園 連絡先 ■ ヴィラ 連絡先

〒631-0803 奈良市山陵町1085 〒631-0811 奈良市秋篠町1567 〒631-0811 奈良市秋篠町1567-1

TEL・0742(41)8088 TEL・0742(45)9588 TEL・0742(53)7707

○ 養護老人ホーム ○ ケアハウス ○ 居宅介護支援事業所 ○ 特別養護老人ホーム ○ テイサービスセンター

社会福祉法人 **奈良市和楽園**

〒630-8424 奈良市古市町1886番地1
TEL (0742) -63-5500 (代) FAX (0742) -63-6051
http://www.warakuen.or.jp/

※ 職員を募集しています。お気軽にご連絡下さい!!

介護等に専門の社会保険労務士事務所

相談無料(社協だより限定)
TEL 06-4790-7620
Mail n-kiyofa@mr21.biz

■ 求人応募が少ない!!
■ 助成金を活用したい!!
■ 職員の介護サービスを向上させたい!!
■ 介護専門のスピードのある社労士に依頼したい!!

HOWA 労務オフィス
大阪市中央区大手前1-7-31 OMMビル15F

すべての勤労者の笑顔のために

近畿ろうきん
http://www.rokin.or.jp

お客様センター ☎0120-191-968

お弁当・会席・ケータリング **はないちがん**

京都の想いをお届けします。

味の和和路 ☎0120-871-309
奈良県大和郡山馬司町696 http://www.hana1.co.jp

旗・応援幕・カップ・バッジ

株式会社 **野崎旗店**

TEL.0742-23-1343 FAX.0742-27-3760
E-mail: hata@nozaki.net

HP **野崎旗** で検索!

相続対策・生前贈与

確定申告・相続税・資金調達・登記
保険代理業務・金利過払いのご相談など

奈良の地で開業80年の実績。皆様のさまざまな疑問・ご要望に「総合力」で誠実にお応えいたします。

TEL 0742-22-3578 FAX 0742-27-1681

税理士法人 森田会計事務所
森田 功 司法書士事務所

医療法人 **拓生会**

内科(消化器・循環器・呼吸器)、神経内科、外科、整形外科
リハビリテーション科、肛門外科、脳神経外科、皮膚科、放射線科、麻酔科
【その他】人間ドック、特定健診、特定保健指導、一般健診、予防接種

救急労災指定

奈良西部病院

理事長 三木 克彦

奈良市三堆町2143-1(帝塚山大学 東生駒キャンパス向かい)
TEL 0742-51-8700 http://www.naraseibu-hp.com/
診療時間: 午前9時~12時まで 午後1時~4時まで
備 考: 皮膚科・脳神経外科については診療日が限られています
土曜日は午前中のみです
日・祝日の外来診療は休診です 但し、急患はこの限りにはあらず

福祉車両のレンタカー
お気軽にご用命ください

ハイエース 2台
ノア 1台
ワゴンR 1台

http://www.294mirai.com/

奈良市北之庄西町1丁目11-3TEL: 0742-61-5662(すずき)

社会医療法人 平和会 **吉田病院**
認知症疾患医療センター

「最近もの忘れが気になる」、「何度も同じ話をしていると
わかってしまった」など、気にされていることはありませんか?
もの忘れについて気になること、認知症のごことでお困りごとな
どありましたら、お気軽に相談専用電話にご連絡ください。

〒631-0818
奈良市西大寺赤田町1丁目7-1
相談専用電話: 0742-45-6599
受付時間: 月~金 9:00~17:00

高齢者福祉 質実会

介護保険施設 **こくせい館**

〒630-8001 奈良市法華寺町1416番1

TEL.0742-33-6514 FAX.0742-33-5420
E-Mail kokuseikan@ae.auone-net.jp

みつけた！奈良の良いものうまいもの♪

安心・安全 手づくりパン！ 秋篠パン工房

スタッフから技術指導とメンタル面のサポートを受けながら心をこめて作られたパン。
パン好きにはたまらない！とにかくおいしい！
そして卵アレルギーの方には卵を抜くなどのご要望にもお応えしており、まさに安心・安全！



①「白いクリームパン」



②「コーヒーマロンパン」



③「やきとりサンド」

<おすすめラインナップ>

- ①「白いクリームパン」(120円)
クリームが手づくり、パナソニック入り!
- ②「コーヒーマロンパン」(130円)
有機コーヒーのクッキー生地が乗っています。
- ③「やきとりサンド」(150円)
もちもち感バツグンの食パン生地が男性に人気!

メンバーの
岩本さん



秋篠パン工房は利用者さんの働きがい、夢、生きがいを応援しています。

毎日楽しくパンづくりの仕事をしています！
中身がはみ出ないようにするのは難しいですが、僕が考えて試作したパンも商品化させていただきます！

お問合せ
施設名：オープンスペース AYUMI 秋篠パン工房
所在地：奈良市秋篠町 1381-1
連絡先：0742-51-0580 (TEL)
0742-53-0512 (FAX)
akishino@os-ayumi.org



※このコーナーは、授産品(障がいのある人たちが通う施設などで作られている製品)の紹介を通じて、授産品及び役務の販路拡大ならびに工賃の向上に繋げることを目的としています。

社協会員募集

奈良市民が安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを進めるために、地域に密着した住民活動のサポートをはじめとして、ボランティア活動の推進や福祉サービスの提供など様々なニーズの実現に力添

えできるよう日々活動を行っています。皆様のまちづくりへの想いが、住みよい福祉の“まち”を育てます。社協会員となって、地域福祉活動を支えて頂きますようよろしくお願い致します。

- ①個人会員
年間1口 1,000円
- ②施設・団体会員
年間1口 5,000円
- ③賛助会員(企業等)
年間1口 10,000円

問い合わせ先 総務課 0742-93-3100

編集 後記

今回取材した秋篠パン工房をはじめ、パン作りに取り組んでいる事業所は美味しいパンを作っているなあと食べるたびに感じます。材料や作り方に秘訣があると思うのですが、「これ美味しいですよ!!」と自信を持って勧めてくれるスタッフの笑顔を見るとつい買って食べ過ぎて…体重増加が気になる今日この頃です。(末年のK)

発行：社会福祉法人 奈良市社会福祉協議会
発行責任者：事務局長 近藤 秀雄
奈良市杏町79番地の4
TEL：0742-93-3100 FAX：0742-61-0330
E-mail：hureai@narashi-shakyo.com
URL：http://www.narashi-shakyo.com

奈良市協 検索

ご高齢の方や、障害をお持ちの方で歩行困難などで治療院に通いづらい方

訪問鍼灸マッサージ ～今お持ちの健康保険証が使える～ 鍼灸・マッサージ

ゆうとぴあ® ご自宅まで訪問いたします!

利用者さまのお声

脳疾患の後遺症があるのですが、病状もよくなってくれる先生で、話もよく聞いてもらっています。

ぐっすり眠れるようになりました。

わたしは、保険負担1割なので1回340円～580円程度です。負担が少なくて、しかも家まで来てくれてありがたいです。

夜中のトイレの介助がなくなり負担が減りました。

糖尿病で人工透析を受けていますが、訪問マッサージは便利です。透析のスケジュールに合わせてもらいながら、毎週3回お願いしています。



無料お試しマッサージのお申込みは
0120-977-207

訪問時間 朝9時～夕方6時 休診日 日曜日・お盆・年末年始

ゆうとぴあグループでは1年間延べ2万人の施術実績

安心と安全と信頼の実績



訪問鍼灸マッサージ
株式会社 日本在宅サービス

訪問鍼灸マッサージ ゆうとぴあ

〒631-0041 奈良県奈良市学園大和町2丁目84 TEL/0742-81-3132 FAX/0742-81-3112 HP http://www.nihonzaitaku.com/